

2010年度 牧羊者 第Ⅰ巻

中高科へのヒント 4~6月

(石田 4/4~5/9、朝川 5/16~6/27)

4/4

●話し合ってみよう

カリキュラム番号 1

1. 見張りをしていた人たちは主の使いを見てどうなりましたか(4)。→ 恐ろしくなった。
2. 主の使いは女性の弟子たちに最初どう呼びかけましたか(5)。→ 恐れることはない。
3. イエス様は女性の弟子たちに現れたとき、最初どう呼びかけましたか(9~10)。→ 平安あれ。恐れることはない。

●考えてみよう。

1. 主の使いはなぜ「イエスが納められていた場所をごらん下さい」と言ったのでしょうか(6)。→ イエス様のおられないことを確認させるため。さらには復活を信じさせるため。
2. 主の使いの言葉を聞いた女性たちは、どう感じたのでしょうか。→ 恐ろしい気持ちと非常に喜びとが混ざっていた(8)。
3. 前もって復活することを弟子たちに語られ(6)、そのとおりにされたイエス様はどんな方でしょうか。→ 神の子、キリスト。

●自分に当てはめよう

1. イエス様の足をいただくような現実的で親しい礼拝をしていますか。
2. イエス様から「兄弟たち」(10)として、見ていただいていると思いますか。
3. 復活の事実を確認するためにはどうしたらいいのでしょうか。→ 自分の罪を悔い改めて、イエス様を心に迎え入れると、主の生きておられることがわかる。

4/11

●話し合ってみよう

カリキュラム番号 2

1. 二人の弟子が語り合っているところで、イエス様はどういう行動をとっておられますか。→ 近づき、一緒に歩かれ、彼らに質問をされた(15、17)。
2. 二人はどんな望みを失ったのでしょうか。→ イエス様がイスラエルを政治的に救ってくださるという望み。
3. 二人の話を聞いたイエス様は、何を話されましたか。→ 聖書全体からキリストの復活を解き明かされた。

●考えてみよう

1. イエス様は、なぜご存じのことをあえて質問しておられるのでしょうか(17、19)。→ 弟子たちに心の内を十分語らせるためではないか。
2. 二人は、なぜ復活の知らせを聞いても信じられなかったのでしょうか。→ 彼らの目がさえぎられていたから(16)。
3. 最後に彼らはイエス様が見えなくなって悲しんだのでしょうか(31)。

●自分に当てはめよう

1. イエス様は近づいて、一緒に歩いてくださると信じますか。
2. 心の「目が開けて」、イエス様が共におられることがわかったという経験はありますか。
3. 聖書を読んで心が燃えるような体験をしたことがありますか。

4/18

●話し合ってみよう

カリキュラム番号 3

1. イエス様から、指を釘あとに差し入れてみなさいと言われたとき、トマスはどのようにしましたか(27)。→ しなかった。
2. トマスは、イエス様をどのような方であると告白していますか (28)。

●考えてみよう

1. イエス様が現れたことについて、弟子たちがトマスに伝えときの彼らの気持ちを想像してみましょう。
2. 自分が一緒にいないところにイエス様が現れたことについて、トマスはどう思ったか、想像してみましょう。
→ どうして自分のいない時に現れたのだらうという悔しい気持ち、など。
3. なぜトマスは「…決して信じない」と言ったのでしょうか。→ 他の弟子たちのように、自分もこの目で確かめたかった、など。
4. 8日後、イエス様が自分にも現れてくださったことを、トマスはどう思ったのでしょうか。→ それだけで十分満足した、など。

●自分に当てはめよう

1. 「…決して信じない」(25) と言ったトマスはどう思いますか。
2. あなたは「見ないで信ずる者」ですか。あるいはそのようになりたいですか。
3. あなたにとってイエス様はどんな方でしょうか。

4/25

●話し合ってみよう

カリキュラム番号 4

1. イエス様は、ペテロに向かって何回「わたしを愛するか」と言われましたか。→ 3回。
2. イエス様は、何回「わたしの小羊を養いなさい、飼いなさい」と言われましたか。→ 3回。
3. イエス様が、ペテロに言われた最後の言葉は何ですか。→ 「わたしに従ってきなさい」

●考えてみよう

1. なぜペテロは「心をいため」たと思いますか(17)。→ イエス様を知らない^{うそ}と嘘をついたことを後悔したから。
2. イエス様が言われる「わたしの小羊」とは、何のことでしょうか。→ イエス様を信じる人々の群れ。
3. なぜイエス様は失敗したペテロに、群れを養うという大事な仕事を任せておられるのでしょうか。→ ペテロが立ち直ることを見越しておられたから。
4. 三度も「わたしの小羊を養いなさい」と言われたペテロは、どんな気持ちだったのでしょうか。→ 罪を赦^{ゆる}されてうれしかった。

●自分に当てはめよう

1. 「わたしがあなたを愛することは、あなたがご存じです」という言葉に共感できますか。
2. 「私はイエス様を愛します」と告白してみましょう。
3. 「私はイエス様に従って行きます」と祈りませんか。

5/2

●話し合ってみよう

カリキュラム番号 5

1. 山に登ってきた弟子は何人ですか。→ 11人。
2. 彼らは山に登って何をしましたか。→ イエス様を礼拝した。
3. イエス様は弟子たちに、どんなことを命じておられますか。→ 行って、弟子とし、バプテスマを施し、み言葉を守るように教えること。

●考えてみよう

1. このときのイエス様は、どのようなあり方でしたか。→ 二度と死なない復活の体。
2. 「疑う者」は、何を疑っていたのでしょうか。→ 本当に復活したイエス様かどうか。
3. イエス様の授けられた権威とは、どんなものだと思いますか。→ 死人の中から復活した方として、信じる人に永遠の命を与える権威。
4. 「行って」とは、何を意味しているのでしょうか。→ 自分の接する人々と深い信頼関係を築くこと。
5. 弟子とするとは、どういう意味でしょうか。→ 他の人を救いに導いたり、支えたりする人に育てること。

●自分に当てはめよう

1. イエス様が共におられることを信じますか。
2. あなたはイエス様の弟子ですか。
3. 他の人にイエス様の言葉を守るように教えたことがありますか。
4. イエス様について証^{だれ}したい人は誰ですか。その人の心が開かれるように祈りましょう。

5/9

●話し合ってみよう

カリキュラム番号 6

1. この箇所は、誰と誰に向かって語られていますか。→ 子どもと父親。
2. 「あなたの父と母とを敬え」という言葉は、聖書のどこからの引用でしょうか。→ 出エジプト記 20・12、申命記 5・16を開こう。

3. 十戒の他の戒めには、約束がついていないか確かめてみましょう。

●考えてみよう

1. 「これが第一の戒め」とは、何を意味していますか。→ 十戒の中で、人間関係についての第一番目に記されているということ。これは人が最初に持つ人間関係であり、生涯にわたって影響を受けるから。
2. 「主にあって両親に従う」とは、どういう意味でしょうか。→ 神が自分のために与えてくださった親として従うこと。
3. イエス様は、ご自分の両親に対してどう振る舞われたでしょうか（ルカ 2・51）。
4. イエス様の態度についてどう思いますか。

●自分に当てはめよう

1. 自分の親を神が与えてくださったものとして受け入れていますか。
2. あなたにとって親に従うとは、具体的にどうすることでしょうか（抽象的で、漠然とした大きなことではなく）。
3. 親に従うことについて、今日からできそうなことを一つ上げてください。

5/16

●話し合ってみよう

カリキュラム番号 7

1. 今楽しみにしていることがありますか。→ 誕生日、家族旅行など。
2. 皆さんは、友だちとの約束を必ず守りますか。
3. 聖霊って聞いたことがありますか。

●考えてみよう

1. 1節の「第一巻」とは何のことでしょう。→ ルカによる福音書。
2. この使徒行伝は、だれによってだれにあてて送られたものですか。→ ルカによって、テオピロに送られた。
3. イエス様が天に上げられる前に弟子たちに約束されたものは何でしたか。→ 聖霊。
4. イエス様は、弟子たちにどこで聖霊を受けるように待っていなさいと言われましたか。→ エルサレム。
5. 弟子たちは、どのようにして約束の聖霊を待ったのでしょうか。→ 祈りながら待った。
6. 弟子たちは一人で祈っていたのでしょうか。→ 120人もの人たちと心を合わせて祈った。
7. 聖霊が降る時、どのようなことが起こるとイエス様は語られましたか。→ 力を受けて、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土さらに地の果てまでイエス様の証人となる。

●自分に当てはめよう

1. あなたは、聖霊に満たされることを願いますか。
2. 聖霊に満たされるまで祈り続けましょう。

5/23

●話し合ってみよう

カリキュラム番号 8

1. 教会の三つの大きな祝いごとを知っていますか。→ クリスマス、イースター、ペンテコステ。
2. ペンテコステは何の日ですか。→ イエス様が約束された聖霊が降った日。
3. ペンテコステは、イエス様が天に昇られてから何日たって降られましたか。→ 10日後。

●考えてみよう

1. イエス様は、この聖霊が降るとどうなると弟子たちに言われていましたか。→ 力が与えられイエス様を多くの人たちに伝えて行く人になる。
2. イエス様の弟子たちは、聖霊に満たされるまでは、どうだったのでしょうか。→ 恐れや疑いに満ちていた。
3. 聖霊はどのような人に与えられるのでしょうか。→ 強い人や努力する人、頭のよい人に注がれるというのではない。イエス様を信じ、聖霊を祈り求める人には、だれにでも注がれる。
4. 弟子たちに聖霊が降った時に、弟子たちのしたことは何ですか。→ 御霊が語らせるままに、いろいろの他国のことばで語り出した（4）。
5. エルサレムの人々は、弟子たちを見てどう思いましたか。→ あざわらって「新しい酒に酔っているのだ」と言った（13）。

●自分に当てはめよう

1. イエス様の復活の証人になるためには、聖霊の満たしが必要です。聖霊を求めましょう。

5/30

●話し合ってみよう

カリキュラム番号9

1. イエス様が、福音を宣べ伝えたのはいつのことですか。→ ヨハネが捕らえられて後。
2. イエス様が、最初に福音を宣べ伝えた場所はどこですか。→ ガリラヤ。
3. 福音とはどういう意味がありますか。→ よい知らせ。

●考えてみよう

1. 「時が満ちた」とはどういう意味でしょう。→ 神様の約束された時が来た、ということ。
2. 「神の国が近づいた」とイエス様は言われました。この「神の国」とは何ですか？→ 神の恵みが満ちているところ。
3. 神の国は何によって始まりましたか。→ イエス様が神のみもとより来られ、福音を伝えられることによって。
4. 神の国に入るためにはどうしたらよいのでしょうか。→ 悔い改めて、福音を信じること。
5. 悔い改めとは具体的にどうすることですか。→ 今まで神様に背を向け罪の道を歩んできたことをお詫言いで、180度方向転換すること。そして、私たちの罪のために十字架で命を投げ出し、3日目に死の力を打ち破ってよみがえられたイエス様を信じ、受け入れること。

●自分に当てはめよう

1. 皆さんの心は、イエス様の恵みで満ち溢れていますか。もしそうでないなら、罪を悔い改めてイエス様を信じましょう。

6/6

●話し合ってみよう

カリキュラム番号10

1. 一般に5章から7章までのイエス様の説教は、何と呼ばれているのでしょうか。→ 山上の説教。
2. 本当に幸せな人は、どんな人だと思いますか。→ お金持ち？ 健康な人？
3. 世の中で言う幸いは、どんなことでしょう。

→ 物に恵まれて満ち足りていること。家庭も学校も、職場も何もかも好都合にうまくいくこと。

4. この世の幸いとは違い、イエス様は「このような人は幸いだ」と言われました。いくつの幸いがここにありますか。→ 八つ。

●考えてみよう

1. 1節にある「この群衆」とは、どのような人々でしょうか。→ ガリラヤ、デカポリス、エルサレム、ユダヤ及びヨルダンの向こうのいろいろな病気と苦しみに悩んでいる人々。
2. 本当の幸せについてイエス様はどのように語っておられますか。→ 神様しか与えることのできない豊かな恵みを頂いている人。
3. 人が幸せかどうかは、どこで決まりますか。→ 神様につながっているかどうか。
4. こころの貧しい人は幸いであるとイエス様は言われました。どういう人のことでしょうか。→ 神様の前に決して高ぶらず、心から神様を信頼している人。

●自分に当てはめよう

1. イエス様の与えてくださる幸いを頂きたいと心から願いますか。

6/13

●話し合ってみよう

カリキュラム番号11

1. さしつかえなければ、あなたの心配していることを言ってみてください。
2. あなたの回りに心配している人がいますか。
3. イエス様は思いわずらうなと言われました。どんなことを思いわずらうなと言われたのでしょうか。→ 何を食べるか。何を飲むか。自分の命のこと。

●考えてみよう

1. 26節でイエス様は、「あなたがたは彼らよりもはるかにすぐれた者」と言われましたが、ここの彼らとは、だれのことですか。→ 空の鳥。
2. 「天の父は、これらのものが、ことごとくあなたがたに必要であることをご存じである」(32)とあります。これらのものとは何ですか。→ 食べ物、飲み物、衣類(31)。
3. イエス様は信仰の薄い者たちよ、と言われます(30)。なぜですか。→ 心配していることは神様を信頼していないことだから。
4. 33節でイエス様は、「まず神の国と神の義を求めなさい」と言われました。具体的にどうすることでしょうか。→ 何事も神の御心を第一とし、神によって生かされ、神によって衣食住のことも、養って頂くことを求めること。

●自分に当てはめよう

1. 思いわずらうことがなくなったら、どんな生活を送れると思いますか。そのような生活を送りたいと願いますか。

6/20

●話し合ってみよう

カリキュラム番号12

1. 今日は、何の日ですか。→ 父の日。
2. お父さんは、子どもが何か欲しいと言う時、どうするでしょう。→ 本当に良いものを与える。
3. 今までイエス様に祈り求めたことがありますか。
4. 皆さんは、どんな時に祈りますか。→ 食事の時。朝起きた時。夜寝る時。病気の時。困った時等。

●考えてみよう

1. イエス様は、父親は求める子どもにこのようなものは与えないと言われています。それは何ですか。→ ①パンを求めているのに、石は与えない。②魚を求めているのに、へびは与えない。
2. 子どもの求めが、子ども本人にとって良くないと思った父親はどうしますか。→ その求めたものを与えない。
3. 子どもの求めたものが、すぐにはふさわしくない場合はどうしますか。→ 時間をかけて、もっともふさわしい時に与える。
4. 天の父は、私たちの祈りにどのように応えてくださるのでしょうか。→ 地上の父親以上に私たちのことを思って、最もふさわしい仕方で、ふさわしい時に応えてくださる。「待ちなさい」と言われることもあるし、「それはあなたに最善ではない」と、求めの祈りに応えてくださらないこともある。

●自分に当てはめよう

1. どんなことも父なる神に祈りましょう。

6/27

●話し合ってみよう

カリキュラム番号13

1. あなたは家を建てているところを見たことがありますか。
2. 家を建てる時に一番大切なことは何だと思いますか。→ 土台。
3. イエス様は「賢い人」、「愚かな人」と言っていますが、賢い人とはどのような人で、愚かな人とはどのような人でしょうか。→ 賢い人とは、岩の上に自分の家を建てた人。愚かな人とは、砂の上に自分の家を建てた人。
4. イエス様は、家を建てることを何に例えているのでしょうか。→ 人生。

●考えてみよう

1. 洪水は賢い人にも愚かな人にも来ました。この場合、洪水とは何のことでしょうか。→ 人生の試練、苦難。
2. 「みことばを聞いて行う」人は、何に似ているとイエス様は語られたでしょうか。→ 「岩の上に自分の家を建てた賢い人」。
3. 並行箇所のカラカ 6・48には、「地を深く掘り」とあります。具体的にはどうすることでしょうか。→ イエス様を信じ、聖書を読み、祈り、教会に来ること。

●自分に当てはめよう

1. あなたの人生の土台は何ですか。
2. コリント人への第一の手紙10章4節には、「この岩はキリストにほかならない。」とあります。イエス様こそ救いの土台です。この岩の上に人生の土台を据えましょう。